

救急・救助編

月別の救急出動状況

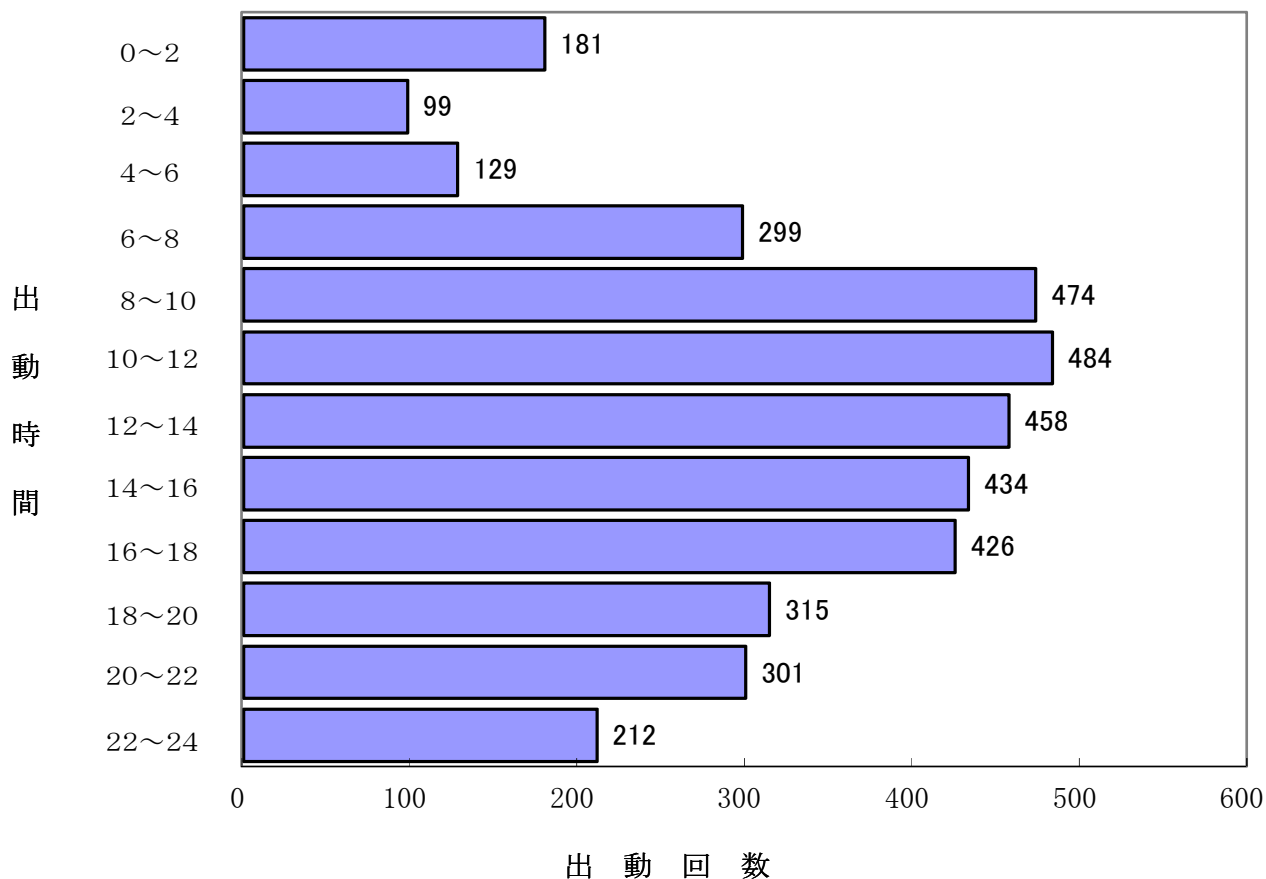
平成29年1月1日～12月31日

事故種別 区分		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他の				計	合計	不搬送
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他の			
1月	出動件数	5			23	3		54	1	2	260	42			9	51	399	34
	搬送人員	3			22	3		49	1	2	246	42				42	368	
2月	出動件数				13			40			181	43			8	51	285	23
	搬送人員				16			39			167	43				43	265	
3月	出動件数	4			11	4		41		3	198	55			2	57	318	22
	搬送人員	1			11	4		37		3	186	55				55	297	
4月	出動件数	1			16		1	36	1	3	189	44				44	291	21
	搬送人員				20		1	32	1	3	174	43				43	274	
5月	出動件数	4			13		2	48		5	198	41				41	311	24
	搬送人員	2			14		2	43		4	184	41				41	290	
6月	出動件数				9	2	3	31		2	190	39			1	40	277	26
	搬送人員				10	2	3	26			173	39				39	253	
7月	出動件数	3			14	3	2	43	1	2	220	57			11	68	356	38
	搬送人員				13	3	2	39		1	205	57			2	59	322	
8月	出動件数	5			12	2	4	65		1	199	51				51	339	19
	搬送人員				11	2	4	60			193	51				51	321	
9月	出動件数	1			27	1	4	43	1	3	176	38			3	41	297	15
	搬送人員				28	1	4	39	1	3	170	38				38	284	
10月	出動件数	2			16	2	1	35	4	3	186	65			1	66	315	19
	搬送人員				14	2	1	31	4	2	177	65			1	66	297	
11月	出動件数				19	1		39		2	158	38			3	41	260	29
	搬送人員				17	1		36		2	140	37				37	233	
12月	出動件数	2			23	2	1	44		1	235	51			5	56	364	45
	搬送人員				14	2	1	41		1	211	50				50	320	
合計	出動件数	27			196	20	18	519	8	27	2,390	564			43	607	3,812	315
	搬送人員	6			190	20	18	472	7	21	2,226	561			3	564	3,524	

出動 1日平均 10.44 件 (2時間18分に1件)
搬送 1日平均 9.65 人

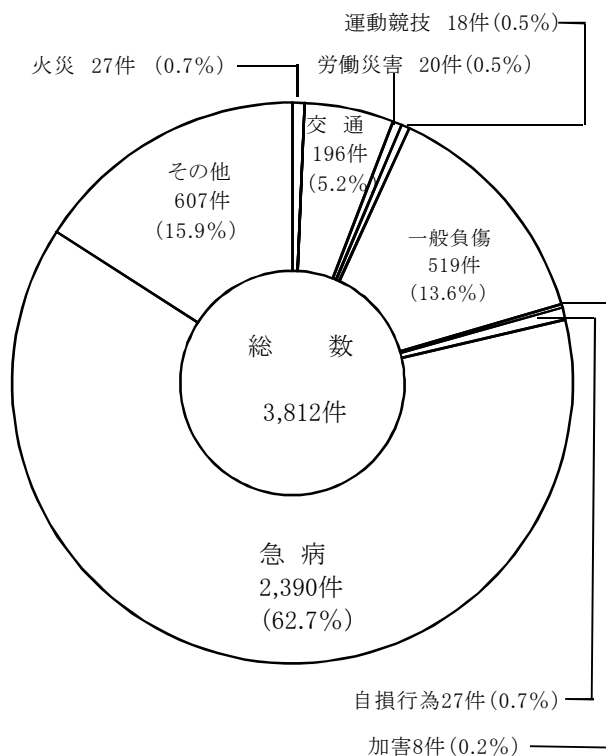
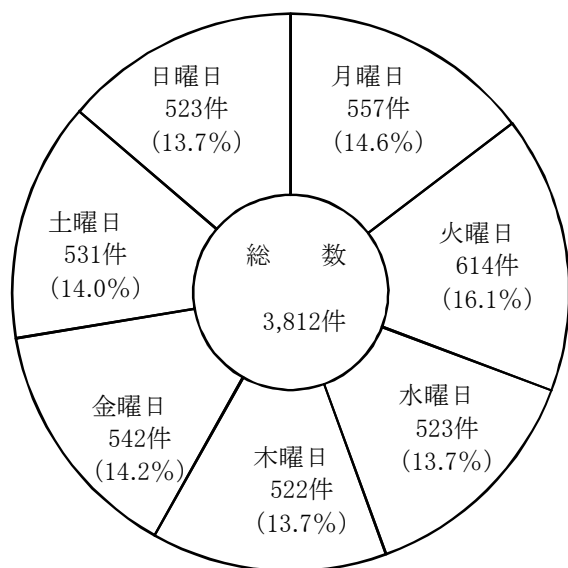
時間別救急出動件数

平成29年1月1日～12月31日



曜日別救急出動件数

事故種別救急出動割合



出動場所別救急出動状況

平成29年1月1日～12月31日

事故種別 出動場所別		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				計	合 計	不 搬 送
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他			
岩 見 沢	出動件数	27			182	17	17	498	7	27	2,301	540			42	582	3,658	305
	搬送人員	6			180	17	17	453	6	21	2,139	537			3	540	3,379	-
月 形	出動件数				8	3	1	19	1		89	24			1	25	146	6
	搬送人員				7	3	1	18	1		87	24				24	141	-
そ の 他	出動件数				6			2									8	4
	搬送人員				3			1									4	-
合 計	出動件数	27			196	20	18	519	8	27	2,390	564			43	607	3,812	315
	搬送人員	6			190	20	18	472	7	21	2,226	561			3	564	3,524	-

過去5年間の救急出動推移

事故種別 年別		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計	不 搬 送	
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他			
25 年	出動件数	19		2	258	33	31	499	16	45	2,254	483			66	549	3,706	296
	搬送人員	5		2	293	34	31	482	10	32	2,099	483			3	486	3,474	-
26 年	出動件数	25		1	213	44	20	523	13	29	2,351	494		2	63	559	3,778	323
	搬送人員	3			223	41	19	497	11	20	2,183	494				494	3,491	-
27 年	出動件数	22		2	228	22	18	488	9	43	2,275	541			39	580	3,687	314
	搬送人員	1		1	256	22	18	451	9	26	2,095	540			1	541	3,420	-
28 年	出動件数	26		2	243	34	28	538	11	39	2,313	513	1	1	58	573	3,807	308
	搬送人員	4			245	34	27	514	7	32	2,162	512				512	3,537	-
29 年	出動件数	27			196	20	18	519	8	27	2,390	564			43	607	3,812	315
	搬送人員	6			190	20	18	472	7	21	2,226	561			3	564	3,524	-

傷病程度別の搬送人員状況

平成29年1月1日～12月31日

事故種別 傷病程度	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡					1		8		4	85	1	99
重 症	1			12	8		108		6	413	226	774
中 等 症	2			13		3	70		6	529	242	865
軽 症	3			165	11	15	286	7	5	1,199	95	1,786
そ の 他												
合 計	6			190	20	18	472	7	21	2,226	564	3,524

傷病程度 初診時における医師の診断(救急業務実施基準第20条第2項の医師の所見)に基づき次により分類する。

1. 死 亡 初診時において死亡が確認されたもの。
2. 重 症 傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
3. 中等症 傷病程度が入院を要するもので重症に至らないもの
4. 軽 症 傷病程度が入院加療を必要としないもの
5. その他 医師の診断がないもの、及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの

年齢区分別の搬送人員状況

事故種別 年齢区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児							1				13	14
乳 幼 児				5			19			71	7	102
少 年				20		12	11	2	1	43	7	96
成 人	1			109	14	6	111	4	12	576	123	956
高 齢 者	5			56	6		330	1	8	1,536	414	2,356
合 計	6			190	20	18	472	7	21	2,226	564	3,524

年齢区分

1. 新生児 生後28日未満の者
2. 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
3. 少 年 満7歳以上満18歳未満の者
4. 成 人 満18歳以上満65歳未満の者
5. 高齢者 満65歳以上の者

救急隊員が行った応急処置件数

平成29年1月1日～12月31日

事故種別	応急処置 対象人員	止 血	固 定	人工 呼吸	胸 骨 圧 迫		心 肺 蘇 生		酸素 吸入	保 温	被 覆
						うち自動		うち自動			
急 病	2,207	20	61	3			95		502	50	8
交 通	187	22	104						16	6	32
一般負傷	466	116	137				10		36	6	131
そ の 他	622	16	48				5		170	11	18
合 計	3,482	174	350	3			110		724	73	189

事故種別	応急処置	気 道 確 保				在 宅 療 法 継 続			ショックパン ツによる 血圧保持	除細動
		※1	※2	※3	※4気管挿管	※A	※B	※C		
急 病	124	1	2	72		9		9		14
交 通										
一般負傷	11		4	5	3	2		2		
そ の 他	11			5						1
合 計	146	1	6	82	3	11		11		15

事故種別	応急処置 その他の 応急処置	静 脈 路 確 保		薬剤投与	ブドウ糖 投与	血圧 測定	聴診器に よる聴取	血中酸素 飽和度の 測定	心電図	血糖測定	合 計
		CPA前	CPA後	アドレナリン							
急 病	149	11	19	15	10	2,074	484	2,120	845	95	6,708
交 通	5					185	53	187	23		633
一般負傷	33		3	3		442	49	455	53	1	1,488
そ の 他	50	1	1	2		601	84	613	178	2	1,812
合 計	237	12	23	20	10	3,302	670	3,375	1,099	98	10,641

1. 止 血 直接圧迫、止血帯、包帯等による止血処置
2. 固 定 副子等による固定又は安静保持
3. 人工呼吸 口対口又は器具等による人工呼吸
4. 胸骨圧迫 胸骨圧迫心マッサージ
5. 心肺蘇生 心肺蘇生法
6. 酸素吸入 酸素吸入器による酸素吸入
7. 保 温 傷病者の状況から保温を保持する必要がある場合に行う保温処置
8. 気道確保 気道の確保のための処置並びに口腔内清拭及び吸引の処置
 - ※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保
 - ※2 喉頭鏡・マギール鉗子等による異物除去
 - ※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリングアルマスク等を使用しての気道確保
 - ※4 救急救命士法に基づき気道確保のための処置で救急救命士が行った気管挿管処置
9. 被 覆 創傷をガーゼ等で被覆する創面保護
10. 在宅療法継続 在宅療法継続中の傷病者に対しその療法維持のために行った必要な処置及び在宅療法に異常があった場合に行った応急処置
 - ※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの
 - ※B 気管切開孔又は気管瘻、人工肛門等の外瘻処置が施されているもの
 - ※C ※A、※B以外の処置が施されているもの
11. ショックパンツによる血圧保持 ショックパンツを使用した血圧保持の処置
12. 除 細 動 重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、自動体外式除細動器(AED含む)による除細動
13. 静脈路確保 CPA前～救急救命士法に基づき心肺機能停止前に行う静脈路確保のための輸液
CPA後～救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、薬剤を用いた静脈路確保のための輸液
14. その他の応急処置 1から13以外の応急処置
15. 血圧測定 血圧計を使用しての血圧測定
16. 聴診器による心音・呼吸音等の聴取 聴診器を使用しての心音・呼吸音等の聴取
17. 血中酸素飽和度の測定 血中酸素飽和度測定器を使用しての血中酸素飽和度の測定
18. 心 電 図 心電計を使用しての心電図の測定
19. 薬剤投与 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、アドレナリンの投与
20. ブドウ糖投与 低血糖傷病者へのブドウ糖溶液の投与
21. 血糖測定 救急救命士法に基づき救急救命士が行なった血糖測定

急病にかかる疾病分類別搬送人員の状況

平成29年1月1日～12月31日

分類項目別	循環系		消化器系	呼吸器系	精神系	感覚器系	泌尿器系	新生物	その他	症微診不	合 計
	脳疾患	心疾患等									
搬 送 人 員 (人)	214	296	259	264	129	66	67	47	359	525	2,226
構 成 比 (%)	9.6	13.3	11.6	11.9	5.8	3.0	3.0	2.1	16.1	23.6	100.0

1. 急病に係る疾病分類とは、事故種別の急病については初診時における医師の診断に基づく傷病名をWHO(世界保健機関)で定める国際疾病分類(ICD)により分類したものである。
2. 「脳疾患」とは、脳血管疾患をいう。
3. 「新生物」とは、胃の悪性新生物、白血病等その他の悪性新生物及びその他の新生物をいう。
4. 「症微診不」(症状・徴候・診断名不明確の状態)とは、腹痛、頭痛、失神、めまい等の疾病をいう。
5. 「その他」とは、上記の循環系から新生物までに分類された以外の疾病分類の全てである。

救助事故種別出動件数

平成29年1月1日～12月31日

事故種別 件数区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機 械 に よる 事故	建物等に よる 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事 故	合 計
	建物	建物以外									
岩 見 沢 市	2		27	2		4	10	2		8	55
月 形 町			3							2	5
そ の 他 の 市 町 村			2								2
合 計	2		32	2		4	10	2		10	62

救助活動件数・救出人員数調

事故種別 件数区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機 械 に よる 事故	建物等に よる 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事 故	合 計
	建物	建物以外									
活 動 件 数	2		17			1	9	1		6	36
救 出 人 員	3		19			1	9	1		6	39

1. 火災とは、火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
2. 交通事故とは、すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
3. 水難事故とは、水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
4. 風水害等自然災害事故とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
5. 機械による事故とは、エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
6. 建物等による事故とは、建物、門、柵、へい等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
7. ガス及び酸欠事故とは、一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。
8. 破裂事故とは、火災現場において直接火災に起因して生じた事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。
9. その他の事故とは、上記に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。